

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-152	14-142	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
題名（原題／訳）		
PTSD and reasons for living: associations with depressive symptoms and alcohol use. PTSD と生きる意味：抑うつ症状および飲酒との関連性		
執筆者		
Lee DJ, Liverant GI, Lowmaster SE, Gradus JL, Sloan DM.		
掲載誌		
Psychiatry Res. 2014 Nov 30;219(3):550-5. doi: 10.1016/j.psychres.		
キーワード		PMID
PTSD、交通外傷、抑うつ、飲酒		24984579
要 旨		
<p>目的：</p> <p>心的外傷後ストレス障害（PTSD）は自殺念慮や自殺行動と関連しており、またしばしば自殺行動のリスクを増長させる他の状態を合併する。しかし、実際に自殺行動に至るケースは多くはない。本研究では、PTSD 患者の自殺行動を抑制する因子について検証した。</p> <p>方法：</p> <p>対象者は、18 歳以上の交通事故による PTSD 患者（N=50）で、事故後 3 ヶ月以上が経過している者とし、精神疾患、双極性障害、薬物依存を認める者は除外した。PTSD の診断および重症度は PTSD 臨床診断面接尺度を用い、抑うつの重症度、危険飲酒、自殺に対する考え（"生きる意味"を指標とした）は BDI-II(ベック抑うつ質問票)、AUDIT(飲酒習慣スクリーニングテスト)、RFL(生きる意味)の自記式質問票を用いて評価した。PTSD の重症度、抑うつの重症度、危険飲酒、生きる意味の関連性を調べるためにパス解析を行った。</p> <p>結果：</p> <p>生きる意味の評価は PTSD および抑うつの重症度、危険飲酒の評価とは逆相関を示した。さらに、抑うつ症状の重症度は PTSD の重症度と生きる意味の関連性を有意に説明するものであった。一方、危険飲酒も PTSD と生きる意味の関連性を説明する可能性があったが、統計的に有意ではなかった。</p> <p>結論：</p> <p>今回の結果から、臨床家は PTSD 患者に対して抑うつ症状の合併がないか評価することが重要と考えられる。また PTSD 患者の自殺リスクについて認識し、回避するためのさらなる検証が求められる。</p>		